

台風21号・北海道胆振東部地震で4日間、臨時休校！！

コミュニティ放送局「FMいるか」で助かりました。

遺愛では9月3日（月）から前期期末テストに入りました、5日未明に台風21号が函館を襲うということで、4日の午後5時半には交通機関ストップの懸念から5日を臨時休業と決定しました。実際は台風による被害はほとんどなく6日はテストを再開できると思っていたのですが、6日（木）午前3時08分に胆振地方でM6.7の地震があり、函館も震度5弱の揺れを記録しました。すぐに停電がはじまり、午前5時半には臨時休校の連絡を生徒・教職員しました。その後も停電が続き、交通機関の乱れもあって、結果的には8日（土）まで臨時休校としました。

臨時休校の連絡については、担任の先生からの連絡網を使った連絡、ホームページによる連絡、ラジオの「FMいるか」による連絡を用いました。停電になると、家庭の電話が使えなくなる、1日ちょっとでスマホや携帯のバッテリーがなくなってしまうという事態が生じました。**ここで頼りになったのが、ラジオのコミュニティ放送局「FMいるか」でした。ピークには30分ごとに遺愛を含めた学校情報を流していました。**地元情報は「FMいるか」が一番でした。今の函館の様子はどうか？避難所はどこか？道路状況はどうか？停電回復状況はどうか？どこのお店がやっているか、何が買えるか？遺愛の臨時休校の連絡も、きちんと流してくれました。災害時の地元情報収集手段はラジオだと今回しみじみ実感しました。何かあった時には遺愛は今後もラジオの「FMいるか」を活用させていただくつもりです。

こんな大変な状況の中で、誠実に一生懸命働いている人がいました。私が感心したのは、停電の始まった6日の朝、交通信号が消えた状態のなか、湯川方面に向かう電車通りから市立高校に続く松見通りとの交差点で、Tシャツ姿の女性が、たった一人で棒をもって、交通整理をしていました。5時間以上1人でやっていたと思います。その間、私は3度遺愛と自宅を往復したのですが、ずっとやり続けていて本当に頭が下がりました。また、ご存知のようにセイコーマートも店を開き、あたたかいおにぎりなど食品を作り、販売し続けていました。不安の中で思わず愚痴や文句が口から出てきますが、もくもくと停電の復旧、被災者の救出のために頑張ってくれている人たちがいることを忘れてはいけないと強く感じました。電力会社、交通関係、警察、消防、自衛隊の方々が睡眠時間を削って、身体をはって頑張ってくれているので復旧してきています。本当に有り難いことです。 2018年9月10日（月）



←余震のために新館2階の教室の天井部分が一部落下しましたが、8～9日の間に修復できました。